

## 次世代 EB 設置における乗務員室の 新たなカメラ設置に不安の声続出

申  
33  
号



次世代 EB 装置の開発に向けた  
乗務員室の新たなカメラの設置に関する申し入れ  
4月17日 提出!

常時、乗務員の状態を映し、本社モビリティサービス部門がリアルタイムで注視できる新たなカメラを、中央・総武緩行線用1編成(三鷹車両センター所属)の1・10号車に、設置する計画。目的は、乗務員の疾病や体調不良による事象が多発していることから、新たにシステムとして列車を止める方法を検討し、カメラの画質や光などの試験を行い事故防止に努めるためとされている。(2023年4月8日 JR 東日本より組合へ説明)



## 組合員からの不安な声が続出!!

- ・なぜ緩行だけ設置するのか？
- ・モニターに「モニター中」など見られていることが分かるように出るのか？
- ・カメラがあって健康状態、体調の何がわかるのか？
- ・今ある防犯カメラがあればいいのでは？
- ・現行の防犯カメラでさえ目的外で使われていて不安。
- ・設置場所や運用方法が不明で安心して乗務できない。
- ・健康状況の確認に使われるならわかるが、本当にその理由のみで使われるのか？
- ・会社がプレス発表せずにしてる事がまず不安であり不信感をいだく。
- ・体調不良は急に発生するんだから常に監視しても意味がない。
- ・乗務員を映す目的のカメラをつけるなら運転士、車掌の意見をまず聞くべきだ！
- ・『何かあった時に見るのか？』等 条件を明確にしてほしい。
- ・機能や目的の説明無しでは納得がいかない。不安が募るばかりだ！
- ・体調不良の発見はカメラでなくても乗務員同士での対面などもっと良い方法があると思う
- ・どういった映像か、どうやって見られてるかの説明をせずに映されるのは気持ちが悪い

すでに職場からは心理的不安、過度なストレスに繋がるという  
声が多数上がっている！

意見を積み上げ**団体交渉**で議論し安全に、安心して乗務できる  
環境を職場全体で作っていこう！